

テーマ 販路・市場の開拓

学校等の「内装の木質化」(ときがわ方式)で販路拡大

協同組合彩の森とき川

小中学校の内装を木質化する。同木質化の材料を確保し提供している。「ときがわ方式」と呼ばれ、近隣市町村や他県からの視察や実際の施行を行うなど、共同販売としての事業が伸びている。

背景と目的

本組合は「ときがわ材」の産地である。同木材は住宅材に適した優れた木材であるが、ブランド力がなく、独自の販売ルートも少ないことから、新たな販売先、販売方法を開拓していくことが組合の重要な課題となっていた。折しも、環境問題への関心の高まり、子供たちの情緒不安定やシックスクールなどの問題から、学校施設の木材活用が見直され、また、ときがわ町も「木の郷ときがわ」をキャッチフレーズに、地元木材を積極的

に活用することで林産業に力を入れていた。

そして、小中学校校舎の多くは鉄筋コンクリート造りで、これの改修や立て替えは自治体の財政負担が莫大なものとなる。

そこで、以上の環境問題、地元林産業の再生、行政の財政を軽くする等のことから、ときがわ町では平成12年から町内の小中学校の内装化に木材を利用してきた。

これは、「ときがわ方式」と呼ばれ、使用する木材を組合から供給している。

事業・活動の内容

組合は平成15年の設立であるが、内装木質化の主要な木材は、ときがわ産材を使用することとされておき、事前に組合が材料を確保し提供している。そして、平成21年度の都幾川中学校の内装木質化で、町内すべての学校が木質化

された。

近隣市町村や他県からの視察や実際の施工を行うなど、共同販売としての事業が伸びている。

活動の成果

時代のニーズ、行政の支援を受け、「学校施設の内装木質化」というコンセプトを基に、良質な木材(天然乾燥及び人口乾燥)提供への取り組みとそれへの需要先からの信頼獲得。需要先への迅速な対応と供給体制の確立から共同販売は、年間売上高を伸ばしている。



▲小中学校の内装木質化で学習環境が向上



▲組合保管庫

また、埼玉県をはじめ、地元行政、NPO、大学等との協力関係を築き、信頼を得ている。

協同組合彩の森とき川

住所：〒355-0364
埼玉県比企郡ときがわ町大字西平
2548番地5
設立：昭和15年9月
出資金：4,800千円
電話：0493-59-1101
URL：<http://www009.upp.so-net.ne.jp/sainomori/>
業種：素材生産業又は製材業
組合員：9人
組合専従者：1人